

親子交流を行った活動・特色ある活動

認定こども園

東陽保育園

《親子リズムフィットネス教室・親子自然体験を通して》

1 目的と経緯

地域をとりまく環境は時代とともに変化しています。令和2年3月頃から新型コロナウイルスが発生し、園をとりまく環境も変わり、子どもたちにとって大切な交流の場を失いつつありました。現在は新型コロナウイルス感染症の減少に伴い、5類感染症に位置づけられ、社会が少しずつ明るくなってきました。

緩和された今、子どもたちにとって大切な交流の場をつくり、「みんな笑顔」を目的として園行事に取り組んでいます。



2 内容

「親子リズムフィットネス教室」では、保育参観（参加）の行事が新型コロナウイルス感染症の為、昨年まではできませんでしたが、今年度は親子リズムフィットネス教室を行いました。年間通して行っているリズムフィットネス教室を親子で体験し、音楽に合わせて体を動かし、手を繋いでふれ合い、ダンスを楽しみました。会場がとびきりの笑顔で包まれました。

「宝の山、親子自然体験」では、大自然の中、ノコギリで木を切り、木の実を見つけたりして木工工作を楽しみました。まきを切って火をおこし、たき火でやきいもを焼いたり、お湯を沸かしたり、初めての自然体験に目をキラキラ輝かせていました。



3 成果と課題

親子リズムフィットネス教室を保育参観（参加）として行い、親子の素敵な笑顔が見られました。普段お仕事で忙しい中、その時間子どもと向き合い、楽しみリフレッシュしていました。保育士もそんな親子の姿を見ていると、ほのぼのとして温くなりました。

大自然の中で、自然体験を行い、普段見られない子どもの姿を真正面から受け止めて、子育ての視野が広がり見直す機会になり、子どもの興味、自発性に驚かされ失敗体験から成功体験へ導いていきました。親子で協同製作を行い、出来た時の喜びを味わい、親子の絆、笑顔がとても素敵でした。

交流の場を提供することで、親子のふれ合い、子ども同士、親同士のふれ合い、保育士とのふれ合いを楽しみ、たくさんの笑顔、たくさんの元気をもらいました。交流の場の大切さを取り戻し、行事が復活し、保育活動が一步前進したように思います。

今後もみんなでふれ合う場を大切に、「みんな笑顔」で楽しめる活動を心がけていくよう努めたいと考えます。